

ビデオ・DVD教材リスト

【アニメ】

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
14	同和問題 (アニメ)	チェリーブラッサム	同和地区以外の大多数の若者たちが何らかの形で同和問題にかかわる現実に直面した時の心の葛藤を、「分身」「変身」「エピソード」という3つのエピソードでオムニバス構成して描かれている。
		42分 中学生以上 1992年	
15	同和問題 (アニメ)	虹のかけ橋	ある中学校内のさまざまな事件をきっかけにして、学級活動の中で「部落差別をなくす3つのなぜ」と題して、クラスみんなが真剣な話し合いをする。
		30分 中学生以上 1991年	
19	障がい者 (アニメ)	勇気あるホテルととべないホテル	羽が縮んで生まれたためにとべないホテル、彼を励まし、助け合う仲間のホテルたち。足が不自由で歩くことのできない妹のために、ホテル取りにやってきた姉と弟。子どもたちとホテルのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描く。
		17分 小・中学生・一般 1990年	
20	人権全般 (アニメ)	クレヨンの星	広い宇宙のかなたにクレヨンたちが住んでいる星があった。ある日、金の星の王子コインがやってきて「クレヨンの星で一番偉い人に会いたい」と言った。偉いという価値観がなかったこの星で、コインは「混じっけのないものが一番偉い」と言ったため、仲の良かったクレヨンたちの間に争いが起こってしまう。大人と子どもが一緒に見て、子どもたちが感じたことを大人が受けとめ、大人が考えたことを子どもたちに伝え、話し合いをするきっかけになる作品。
		14分 幼児・小学生・一般 1991年	
21	人権全般 (アニメ)	きつねのかんちがい	誤って井戸に落ちた子ぎつねを、殺されたと勘違いしたきつねたちが村人の田を荒らす、一人の若者が怒った村人をいさめ、きつねの誤解を解いている。日常よくある「勘違い」や「思い込み」、「決め付け」などが、相手を傷つけてしまっていることを指摘し、合理的、科学的なものの見方、考え方を身につけ、自分の意見をはっきり主張することの大切さを訴えている。
		28分 幼児・小学生 1989年	
26	同和問題 (アニメ)	芽吹き	かつて一人息子の結婚相手が同和地区出身ということで猛反対し、2人の仲を割いてしまったおばあさんが、顔にあざのある小学生や同和地区の高校生たちと出会い、苦難を乗り越える若者の心にふれ、その生きざまから多くのことを学ぶ。差別の厳しさを感じ、差別のない社会にするにはどうすればいいのかを考えさせられる作品。
		41分 小学生以上 1994年	
27	同和問題 (アニメ)	へんてこなボランティア	読み書きができなかったために辛い思いをしてきたおばあさんの生活に生きがいが生まれた。3人の中学生から文字を教わったおかげで念願の手紙のやりとりもできるようになったからだ。識字問題を中心に教える者と教えられる者が「共に生き、共に体験し、共に喜び合う」なかで成長する姿を描く。
		46分 中学生以上 1993年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
33	外国人 (アニメ)	いちばん近くに	小学6年生の早智は、弟の健太のクラスに転校してきた在日韓国人・金英浩が周囲から特別視されたり、因縁をつけられている様子を見て心を暗くしていた。ピアノの練習で腕を痛めた早智は、英浩の自宅・金医院で治療を受け、ピアノを通じて英浩と心を通わせる。しかし、それを快く思わないクラスメイトの明の叱咤を受けて、傷ついた英浩が失踪してしまう。このビデオは、とりわけ小・中学生の子もたちが、異なる文化や習慣を尊重し、共生する社会をつくることの大切さに気づいてくれることを目的に制作。
		22分 小学生以上 1996年	
41	人権全般 (アニメ)	蛍の舞う街で	寺内さんと小林さんという2つの家族の交流を中心に物語を展開し、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思っていることの中にもさまざまな人権問題が潜んでいることやお互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯などの問題を投げかけている。
		42分 中学生以上 1997年	
46	外国人 (アニメ)	残された名刺	「世に栄光を求めたわけじゃありません。人間としての尊厳を犯されることなく、静かに暮らしたかっただけです」という在日一世の苦難の道。その背景に、日本と朝鮮の近代史が重なる。日本人にとっても生きにくかった時代を振り返り、日本のよりよい未来を話し合うきっかけとなる作品。
		30分 中学生以上 1996年	
47	人権全般 (アニメ)	にじいろのふしぎないし	やさしさと勇気をくれる「にじいろのふしぎないし」を求め、魔女の待つ洞窟へ子どもたちの冒険が始まった。はたして「にじいろのふしぎないし」を手に入れることはできるのか？この作品は、動物の世界を舞台に、子どもたちが生活の中で言葉や行為が相手を傷つけることや、一人よりも友達と一緒に遊ぶことの楽しさなどに気づき、「相手の立場を考え、思いやる気持ち」を育むことをねらいとしている。
		15分 幼児以上 1996年	
48	障害者 (アニメ)	わすれるもんか！	目の不自由な正彦がギター演奏会を開く。幼稚園のときいつも正彦を守ってくれた杉本先生は、演奏会を心持ちにしている。演奏会の準備をする健治は、正彦に会う前は暴走族だった。精一杯生きている正彦の姿が、周りの人達を感動させ、生き方を変えていく。物事をありのままに見、人間としての連帯の和を広げることの大切さを訴える。
		40分 小学生以上 1992年	
59	同和問題・障がい者 (アニメ)	いのち輝く灯 <small>あかり</small>	人生の途中で障がいを持つ奈津子とその恋人・雅人（母親が同和地区出身）、そして盲目の老人・昭吉との関わりや家族を含めた周りの人々との関係を通して「人権」とは何かを問いかけ、なぜ人が人の人権を無視し差別するのかを見る人に投げかけている。
		48分 高校生以上 1998年	
61	人権全般 (アニメ)	どんぐり森へ	虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にも命があり、それはたった一つしかなく、失うと二度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いている。
		15分 幼児・小学生低学年 1998年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
70	子ども (アニメ)	さるカニ合戦 いじめっこザルと正直カニさん	昔話「さるカニ合戦」を通じて「いじめ」を考える初期学習アニメーション。「いじめ」という問題を個々で考え、みんなで話し合うための素材に。
		12分 幼児・小学生 1999年	
71	平和 (アニメ)	はだしのゲン①	ベストセラーとなった中沢啓治の劇画をアニメ化。広島島の原爆を受けたゲンとその仲間たちの物語。太平洋戦争末期から原爆投下、さらに敗戦後に至る広島で、国民学校2年生のゲンが、さまざまな困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリティーで生き抜いていくさまを、笑いと涙をまじえ、感動的に描く。
		85分 小学生以上 1983年	
72	平和 (アニメ)	はだしのゲン②	はだしのゲンの続編。小学4年生に成長したゲンと原爆孤児たちの姿を描く。
		90分 小学生以上 1999年	
73	平和 (アニメ)	対馬丸 ーさようなら沖縄ー	昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖縄の子どもたちを学童疎開させる命令を出した。疎開船「対馬丸」は、8月21日出航したが、米潜水艦の魚雷攻撃を受けてしまう。沖縄の海には今なお、未来を奪われた子どもたちの沈痛な叫び声がこだましている。
		75分 小学生以上 1982年	
74	平和 (アニメ)	かんからさんしん	「かんからさんしん」とは空き缶やパラシュート糸で作った沖縄の手作り三味線のこと。太平洋戦争末期、沖縄は米軍の猛攻撃を受け、サンゴ礁の海をみるみる血で染めあげた。「生きる」ことの意味を「さんしん」にのせて唄う人々と沖縄戦の悲惨さを鮮明に描いた作品。
		78分 小学生以上 1989年	
78	人権全般 (アニメ)	みんなのもり	みんなの森に力の強いオオカミがやってくる。乱暴を始めた。森の住人のあなたなら、どうする？人間の人格の骨組みがつくられる小学生低学年向けの人権教育映画。大事な時期の児童の人権感覚の育成に役立て、また中学生や成人にとっても、考えながら楽しく鑑賞できる教材。
		16分 小学生以上 1989年	
80	高齢者 (アニメ)	一枚の絵てがみ	中学2年生の沢田梢は『学校だより』の編集委員。祖母の敏江が参加する“絵手紙クラブ”を取材することになり、楽しそうに集う高齢者たちや日本文化に触れたいとやって来た外国人たちと出会う。高齢者の生き方やそれを支える家族や地域のあり方について考える。
		43分 中学生以上 1999年	
85	人権全般 (アニメ)	源吉じいさんと子ぎつね	一人暮らしのおじいさんと、柿の実が食べたいばかりにその孫に化けた子ぎつね。二人の出会いと別れを、美しい秋の山村を舞台に描くアニメーション。楽しさと情感あふれる世界を通して、子どもたちに人を思いやる温かな心を育ててほしい作品。
		18分 幼児以上 2001年	
86	人権全般 (アニメ)	おじいちゃんのトマト	一人の少年のまわりで起こるさまざまな人権問題（高齢者、いじめ、不登校、命の尊厳など）をめぐって、少年やその家族、周囲の人たちが悩み苦しんでいく。しかし、体の不自由な祖父の生きることへの情熱や考え方に触れ、命の尊厳や相手の気持ちを思いやる優しさに気づき始める。
		39分 小学生以上 1996年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
95	人権全般 (アニメ)	夢、空高く	自治会で行われるたこ揚げ大会の準備に多くの人がかかわっていく中で、親や子どもの自立の問題、共生し協働することの意義などについて投げかけている。また、被差別の立場にある人の生き方を通して、「人それぞれが自分らしく生きる」とはどういうことかを考える作品。
		41分 中学生以上 2000年	
104	子ども (アニメ)	こころの交響楽 <sup>シンフォニー</sup>	市民病院の小児科を舞台に、喘息で入院している小学生矢沢直とろっ骨を骨折して入院してきた同学年の小林剛の入院中の出来事について、家庭や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・命の尊さ」、「自他共により良く生きていくためには何が必要か」、「家族のあり方」などを考える。
		43分 小・中学生・一般 2001年	
106	子ども (アニメ)	しっぱい いっぱい もいっかい	失敗ばかりで悩んでいた子どもたちが、ある日、失敗を食べてくれる“ババル”を探しに森へ…。そこで出会った“バクさん”に「もいっかいのタネ」と考える力や勇気をもらう。やがて、子どもたちは、失敗を乗り越える喜びを知る。
		17分 幼児・小学生 2000年	
107	子ども (アニメ)	み一つけた!	学級の飼育委員会の仕事、うさぎの世話を通して、お互いを認め合うことの素晴らしさや、そのためには自己表現(コミュニケーション)することが大切であることなどを描いている。「生きることの素晴らしさ」や「命の尊さ」について考える。
		18分 小学生 2001年	
114	人権全般 (アニメ)	陽だまりの家	「共に生きる」とはなにか。母子家庭の奈々恵と娘の千鶴、一人暮らしの老女、秀子。個性の違いを認め合い、互いに尊重しながら、寄り添うとき、人々に陽だまりのような温かさが生まれる。
		42分 中学生以上 2002年	
118	平和 (アニメ)	消えさらぬ傷あとー火の海・大阪ー	1945年、無差別の空襲によって、大阪の人々の多くの尊い命が奪われた。空襲体験者の手記に基づくこの作品は、戦争当時のできごとだけでなく、この空襲で右腕を失った主人公の少女が戦後、障がい克服し、力強く成長していく姿も描いている。
		20分 小学生以上 1991年	
119	平和 (アニメ)	はとよ ひろしまの空を	広島原爆で、可愛がってくれた少年を亡くした小鳩が、焼け野原で必死に生き抜こうとする姿を通して、かけがえない命や平和について考える。
		21分 小学生以上 1996年	
125	子ども (アニメ)	よーいドン!	さくら小学校の5年1組33人は、スポーツ大会に校内で1クラスだけ選ばれる「30人31脚」の競技に挑戦を始める。練習を通して33人の気持ちが一つになっていく様を描きながら、「共生」することの素晴らしさ、友達の痛みを感じとり行動に移す力、日常の学校生活を通しての競争のあり方、忍耐力の大切さなどについて考える。
		18分 小学生・中学生 2002年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
139	平和 (アニメ)	一つの花	「ひとつだけちょうだい」これがゆみ子の覚えた最初の言葉でした。おなかをすかしておにぎりをねだるゆみ子に、コスモスの花を一つ手渡して父は出征して行く。日本児童文学者協会の新人賞に輝き、3社の教科書にも採用されている作品。
		23分 小学生以上 1991年	
140	平和 (アニメ)	<b>DVD</b> ヒロシマに一番電車が走った	原爆投下のわずか3日後、ヒロシマの街に路面電車が走り出した。戦争に行った男たちに代わって車掌を務める少女たちは、傷つきながらも生き残った人々のために電車に乗り込んだ。被爆体験募集に寄せられた300通を超える手記をもとにアニメーションで描いている。
		32分 小学生以上 2005年	
144	平和 (アニメ)	つるにのって「とも子の冒険」	夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れた小学6年生のとも子は、平和公園で不思議な少女と出会う。彼女の名前はサダコ。サダコの案内でとも子の不思議な冒険が始まる。この作品は、未来の大人たちに、核兵器や放射能の恐ろしさと、平和づくりへ自ら参加することの大切を訴えたもの。
		27分 小学生以上 1993年	
145	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> こぎつねのおくりもの	お地蔵様に化けたら、おだんごがもらえることを覚えた3匹のこぎつねは、お供えしてくれるおばあさんの大切な写真を破ってしまう。人間とこぎつねの温かい心の触れ合いを描いた作品。
		30分 幼児・小学生 1993年	
150	子ども (アニメ)	名前・・・それは燃えるいのち	小学4年生のよりかと平吉は宿命のケンカ友だち。ある日名前のことでケンカになった二人に担任の姜(カン)先生は「名前のことを調べて発表するように。」との宿題を。両親の愛情に気づくよりか…移民した祖父を誇りに思う平吉…。自分の名前、友だちの名前・・・名前に込められた思いに気づいたとき、ひとりひとりの命の大切さ、ひとりひとりの違いの素晴らしさを考える作品。
		18分 小学生 2006年	
152	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> よっちゃんの不思議なクレヨン	おばあちゃんからもらった不思議なクレヨンが①やさしい心②みんなの為に奉仕する心③ごめんねという反省の心④自分だけの間違っただけの欲張りな心⑤ありがとうという感謝の心を教えてくれる、やさしいよっちゃんと森の動物たちとの暖かい生命(いのち)の物語
		22分 幼児・小学生 2004年	
155	平和 (アニメ)	しんちゃんのさんりんしゃ	広島原爆資料館に1台の赤錆びた三輪車が展示されている。食物も玩具もない戦争の末期、三輪車の絵本を宝物にしていた当時3才の鉄谷伸一がやっと手に入れたもの。伸ちゃんは、三輪車で水の上を走ったり、空をとんだりする夢を見ていた。原爆は楽しい夢ばかりでなく生命までも一瞬に……。三輪車まつわる実話をもとに作られた作品。
		24分 小学生以上 1994年	
159	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> みんないちばん!	小さな森の小さな仲間たちのお話。どんぐり君はジャンプが得意。松ぼっくり君は剣道の達人。球根君は穴掘り名人。たけのこ君は力持ち一番。だけどきのこちゃんだけは、自分にいいところがないと落ち込む。でも仲間たちはわかっていました。雨にうたれた小さな虫たちを助けるきのこちゃんが、“優しさ一番”だということを。
		13分 幼児・小学生低学年 2006年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
170	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> ねずみくんのきもち	ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんのきもち」を映像化。いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをねずみくんと一緒に学べるアニメーション。
		12分 幼児・小学生低学年	
174	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> 1人ぼっちの狼と7ひきの子やぎ	みんなから恐れられ、いつもひとりぼっちの狼。ある日狼は、丘の上に住むやぎ一家の家へ忍び込む。両親の留守中に7ひきの子やぎを食べようとする狼だが、無邪気な子やぎたちは、狼が危険だと思わず、一緒に踊ったりして仲良く遊ぶ……。『いじめ追放童話』と銘打たれた小沢昭巳・作、川端順子・画の絵本をアニメ化。
		18分 幼児・小学生低学年 1994年	
175	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> 1人ぼっちの狼と7ひきの子やぎ	みんなから恐れられ、いつもひとりぼっちの狼。ある日狼は、丘の上に住むやぎ一家の家へ忍び込む。両親の留守中に7ひきの子やぎを食べようとする狼だが、無邪気な子やぎたちは、狼が危険だと思わず、一緒に踊ったりして仲良く遊ぶ……。『いじめ追放童話』と銘打たれた小沢昭巳・作、川端順子・画の絵本をアニメ化。
		18分 幼児・小学生低学年 1994年	
176	一般 (アニメ)	<b>DVD</b> めぐみ	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ
		25分 一般 2008年	
177	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> じんけんの森の大冒険	人権について、法務省人権擁護局と財団法人人権教育啓発推進センターが企画したコンテンツ教材。人権課題についての解説のほか、人権クイズやゲームを楽しむことができます。
		小学校低学年～高学年 2008年	
180	子ども (アニメ)	<b>DVD</b> ひまわりとうたおう ～心の教育アニメーション「おもしろい」～	このアニメーションは、夏に咲くひまわり、秋に咲くコスモス、冬に誕生する雪だるまと、まったく違う環境に生きる三人がそれぞれの気持ち、立場になって思いやりの心を持つようになっていく姿を描いたものです。 「自分が好きなものはみんなも好き」という自己中心的な考えを「自分は好き。でも他のひとは好きじゃないかもしれない。」と考えることが大切です。そして、「してあげる」ではなくて「何か自分のできることをしたい」という自発的な心を育てることがねらいです。
		15分 幼児 1994年	
183	障がい者(外国人・アニメ)	<b>DVD</b> わたしたちが伝えたい大切なこと —アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品—	『差別のない世界へ』(8分) 中学生である主人公が、自らの経験を通して差別される側の心の痛みを知り、父の言葉を思い起こして差別に立ち向かう勇気を得る経緯を描く。 『手伝えることはありますか』(7分) 事故で右手を失った父に対して「何でもやってあげよう」と考えた主人公ですが、実際の父との暮らしのなかでやがて大事なことに気付いていく。 『共に生きるということ』(7分) 主人公が、人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの言葉を聞くことで、自分が今まで持っていた障害のある人＝弱者という考え方が変わっていく過程を描く。 【審査委員長からのメッセージ】(8分)
		31分 一般 2017年	